

事業所名	こどもプラス兵庫教室
------	------------

公表日 令和7年3月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動しやすいように整理整頓を心がけており、運動するスペースと勉強をするスペースを分けている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切に配置しており、イベント等で利用児童が多い場合は職員の数を増やして対応している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	教室内の段差をなくし、車いすの介助もできるようにしている。教室内の表示も児童が分かりやすいように掲示している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	心地よく過ごせるよう清潔に保つように心掛けている。毎日の清掃、消毒を徹底しており、定期的に配置の見直しや大掃除もしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	静養室を設けており、児童の体調や状況に合わせて使用できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者中心に児童の利用後の様子や変化に応じて話し合い、全職員が対応できている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年保護者様へ依頼し、意向等をうかがう機会を設けている。回答内容を職員で確認し業務改善に繋げている。相談支援員や学校とも協力し放デイ以外での様子も把握できるようにしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日支援開始前にミーティングを行っており、それ以外の時間でも交流するなど意見を出し合える時間を作っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	第三者委員会は虐待に関する評価窓口になっており改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年のうちに研修のスケジュールを組み、全員で受講し報告書を作成しより良い支援につなげている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムは公表しており、ホームページ等に掲載している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者がそれぞれの保護者、本人とアセスメントに基づいて支援員と担当者会議を行い計画を作成している。保護者のニーズを聞き取りしたうえで作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	保護者の意見のみならず児童の希望も取り入れ本人の意向に沿った計画を検討している。職員全員で話し合う場を設け、必要な支援について情報交換を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員全体で情報共有し、計画内容を理解してから支援にあたっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の活動の理解ができやすようにホワイトボードなどを活用。行動観察は関わりのある学校や保護者と情報共有している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	設定できている。子どもの様子の判断およびアセスメントより適切な支援目標が設定できるよう話し合いを常に行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月目標を設定し必要なプログラムを話し合っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	日々の振り返りを行い、難易度に変化をつけている。学校休業日は工夫をして子供たちが楽しんで参加できるようにしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	主に集団活動をメインとし、難しい場合は個別に対応している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日ミーティングを行い、前日に合ったことなどの申し送りや確認を含め打ち合わせを行い、支援や役割について共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りを行ったり、児童のその日の調子や様子等を共有している。不在の職員にも許容できるようノートにまとめている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援内容や状況を記録し、情報共有や支援の検証改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、保護者の意見を取り入れ、達成しやすい目標作りを心がけている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	複数を組み合わせて支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	強制はせず選択肢を作り選ばせている。その際理由を尋ね気持ちを確認している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に児童発達管理責任者が担当し、難しい場合は管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	地域の部会などに参加し多様な業種の方と情報交換し連携しており、特に学校とのやり取りは多く行うようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校での様子や事業所での様子を共有し、必要な情報は配布プリントのコピーを頂きチェックしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	情報が必要な場合には交流を図るようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業生がいる場合は共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	現在は行ってないので今後行ってきたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域交流は時折しており、他教室との合同イベント等もやっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	今後は積極的に参加していきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎日送迎の際や連絡ノートでの伝達や、ラインや電話なども状況について確認しあっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	県や民間団体の研修で保護者が参加できそうなものは声を掛けている。研修資料などコピーして渡したりしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学や契約時に説明したり、尋ねられたらその都度行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	児童や保護者を尊重し、児童の支援を行っている。モニタリング時や利用時の送迎の際にも確認を行い、理解が難しい場合は相談支援員にも尋ねている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	計画を作成する際は支援内容を説明し、保護者の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談にはその都度応じており、時間を設けて事業所に来ていただいたりLINEや電話等で気軽に悩み相談を受けたりしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を開催を検討している。体育館行事等で保護者参加型とし交流の場を設けている。希望の声に応じて開催したいと思う。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	整備し対応をしている。小さな苦情から職員間で共有し対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月お便りを作成・配布し、HPやインスタにあげている。個別にLINE等でお知らせする場合もある。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付きの書庫で保管をしている。必要ないものはシュレッダーにかけて破棄している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	話しが伝わらない際は書面や文章にて連絡している。言葉以外のコミュニケーションを取る最善の策を探している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域の行事にはよく参加はしており、高校生ボランティアが教室で実習を行うこともある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを作成し、訓練を行い際には起案書を作成し情報共有をしている。保護者にも共有し、訓練実施後はどういった内容で行ったかなどに周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画を策定し、定期的に必要な訓練を行っている。訓練を行った際は保護者様にもお知らせしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントや保護者からの聞き取りにて把握し職員共有をおこなっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アセスメントや保護者からの聞き取りでアレルギーの有無を確認し、指示書がある場合はそれに基づき対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。必要に応じて見直し、職員全体で理解を深めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	お知らせを作成し周知している。計画に基づく取り組みも行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	共有、検討、振り返りを行っている。同じことを繰り返さないようにミーティングしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	各教室の研修、および委員会も年3回行って防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	現在該当する児童はいないが、計画に記載はしている。身体拘束をやむを得ず行い場合については委員会を開いて検討している。	